

2月10日は「ニット(編み物)の日」
毛糸で着飾った「兵庫の津」界隈 walk 2019.1.22.
清盛が整備した旧大輪田泊 兵庫の津



「兵庫の津」界限walk
概略MAP
清盛が整備した
旧大輪田泊 兵庫の津

能福寺兵庫大仏

東出町Dock群

川壘No.3Dock

兵庫港

兵庫駅

暖かい冬の一日 ほっこりと

「兵庫の津」界限 walk 2019.1.22.

清盛が整備した旧大輪田泊 兵庫の津

1. 久しぶりに兵庫の港を歩く
2. 毛糸で着飾った「兵庫の津」界限
毛糸で着飾った新川運河プロムナード
兵庫大仏の前に座す毛糸で編んだ仏様
3. 兵庫の津の今の海岸線 兵庫埠頭の突堤から 港神戸を眺める

1月22日新聞に「街を包む毛糸 日常を飾る」の見出しで、旧兵庫の津界限を毛糸で飾る街の展示紹介と共に大きな兵庫大仏の前に立つ毛糸で編まれた仏様が掲載。そのほっこりした姿に 今日のWalkは久しぶりに兵庫の津界限を歩こうと。何度も歩いたことがある界限ですが、久しぶり。今までとはまた一つ違ったうれしい港神戸の1ページとなりました。

© 2018 Google
© 2018 ZENGIN

By Mutsu Nakanishi

Google Earth



カラフルな毛糸で街中の柵や街路樹などを飾り、兵庫運河周辺の魅力を発信するイベント「兵庫ニット芸術区」が21日、兵庫区切戸町の新川運河キャナルプロムナード周辺で始まった。ニットを使ったアート作品で知られ、東京を拠点に活動する力石咲さんが手掛けた装飾が同区内の22カ所で展示される。3月29日まで。(真鍋 愛)

兵庫で「ニット芸術区」



街包む毛糸 日常彩る

芸術家力石さんら 街路樹など22カ所



兵庫区役所まちづくり課の主催で、初めて開催。力石さんは昨年9月から兵庫運河周辺を歩き、住民への聞き取りなどで準備を重ねた。今月19、20日には同区の須佐野中学校の生徒や地元婦人会の有志ら約20人も参加して作品を制作した。新川運河キャナルプロムナードの徒歩道約300mに赤や黄、水色などの毛糸で十字を基にした作品が展示されている。「兵庫大仏」のある龍崎寺(同区北遊瀬川町)には、ニットの大仏も登場。訪れた人目を止め、スマートフォンなどで撮影していた。

妹とあいの3人で遊歩道を訪れた近くの子供大形孝さん(26)は「毛糸がカラフルで、川の印象が明るくなった。日曜の散歩がもっと楽しくなりそう」と話した。

2月24日は力石さんと機織りに活動するワークショップが新川運河キャナルプロムナードと旧岡方橋(同区本町2、福屋神社(同区東部町)である)のいずれも午前10時～午後4時、無料。参加費は200円。

兵庫区役所まちづくり課 078-811-1111



2月10日はニット(編み物)の日 ニットの日を記念したイベント 2019.1.22.神戸新聞より

作品を鑑賞する親子ら＝新川運河キャナルプロムナード



カラフルな毛糸で街中の柵や街路樹などを飾り、兵庫運河周辺の魅力を発信するイベント「兵庫ニット芸術区」が21日、兵庫区切戸町の新川運河キャナルプロムナード周辺で始まった。ニットを使ったアート作品で知られ、東京を拠点に活動する力石咲さんが手掛けた装飾が同区内の22カ所で展示される。3月29日まで。(真鍋 愛)

兵庫で「ニット芸術区」

街包む毛糸 日常彩る

芸術家力石さんら 街路樹など22カ所

兵庫区役所まちづくり課の主催で、初めて開催。力石さんは昨年9月から兵庫運河周辺を歩き、住民への聞き取りなどで準備を重ねた。今月19、20日には同区の須佐野中学校の生徒や地元婦人会の有志ら約20人も協力して作品を制作した。新川運河キャナルプロムナードの遊歩道約300mに赤や黄、水色などの毛糸で十字を表した作品が展示されている。「兵庫大仏」のある能福寺(同区北逆瀬川町)にはニットの太仏も登場。訪れた人は足を止め、スマートフォンなどで撮影していた。

妹とめいの3人で遊歩道を訪れた近くの主婦大江彩華さん(26)は「毛糸がカラフルで、川の印象が明るくなった。日課の散歩がもっと楽しくなりそう」と話した。

2月23日には力石さんと柵などに装飾するワークショップが新川運河キャナルプロムナードや旧岡方倶楽部(同区本町2)、柳原神社(同区東柳原町)である。いずれも午前10時～午後4時。無料。途中参加もできる。

兵庫区役所まちづくり課 ☎078・511・2111



能福寺に登場した、大仏を模した作品＝能福寺

神戸新聞の記事を見て 久しぶりに兵庫港から新川運河・兵庫突堤と毛糸を着飾った兵庫の津周辺をwalk

「兵庫の津」界限walk
概略MAP
清盛が整備した
旧大輪田泊 兵庫の津

「兵庫の津」界限walk
概略MAP
清盛が整備した
旧大輪田泊 兵庫の津



兵庫の津の整備 兵庫運河・新川運河

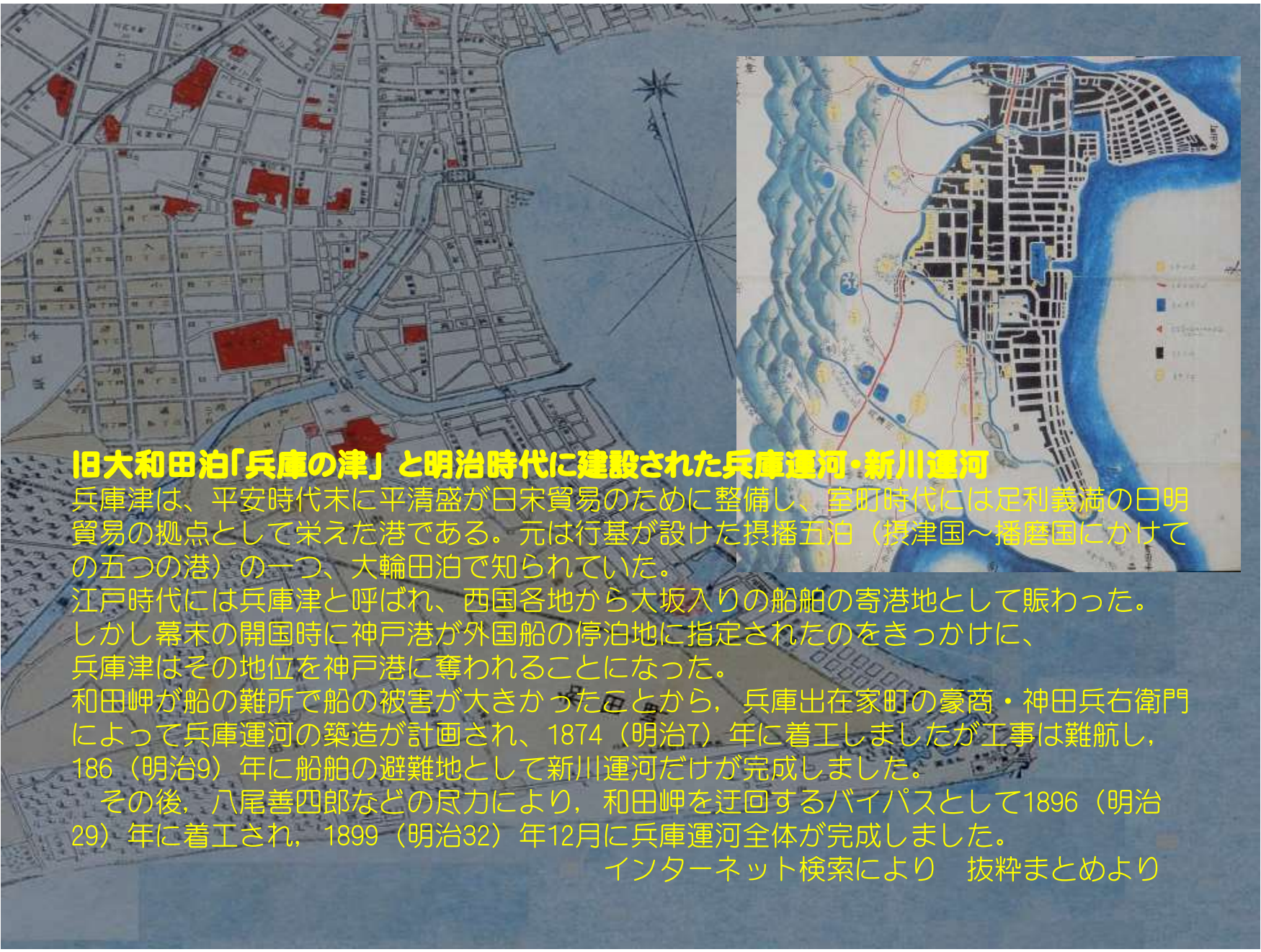
船の難所和田岬を避けるために、明治時代建設された兵庫運河
新川運河はその一部

江戸時代までの兵庫津は、政治・経済・文化の中心地であったが、幕末の開港を境に都心の機能は東へ移っていった。兵庫津には、江戸時代以来の舟入場が南北に二カ所あったものの、いずれも狭く、しばしば船舶が風難に遭うため、地元ではこれを解消し、退勢を盛り返すための取り組みの一つとして、新川運河の開削を明治七年（1874年）に開始。当時の第二区長神田兵右衛門らは、和田岬を迂回せず兵庫に入港できるよう、駒ヶ林の海岸から兵庫を結ぶ運河を計画しました。財源の目途がたらず、結局、半円形の運河を開削し、運河周辺に市街地を造成するにとまりました。工事の費用は、兵庫の町の税積立金と北風家など資産家の出資による官民協力の形を採り、運河は明治九年五月に完成した。築島寺の正面と運河が通り、その西の舟入場は大半が埋め立てられ市街地となり、切戸町の勤番所跡地などは運河に囲まれて中の島と呼ばれるようになりました。

明治二六年には、兵庫運河株式会社が和田岬を迂回しない当初の運河計画の実施にようやく乗りだし、同二九年に開削工事着工され、同三二年一二月に完成しました。新川運河と東虎池の海岸とを結ぶ運河本線、兵庫駅付近と本線を結ぶ支線、延べ二五キロメートルを年に船舶五万隻、筏（いかだ）一万枚ほどが利用したといわれています。また、開削による土砂で港口部の浅瀬を埋め立てて河築島を造成、運河の開通で船舶の往来が活発になるとともに、荷揚場や道路なども新設され、運河周辺は倉庫・工場が立ち並ぶ市街地へ変容していきました。

その後、運河の浚渫（しゅんせつ）や護岸修築、橋・道路の改修など問題が起り、新川運河も一体的運河のため大正八年（1919年）に県から市に移管されました。





旧大和田泊「兵庫の津」と明治時代に建設された兵庫運河・新川運河

兵庫津は、平安時代末に平清盛が日宋貿易のために整備し、室町時代には足利義満の日明貿易の拠点として栄えた港である。元は行基が設けた摂播五泊（摂津国～播磨国にかけての五つの港）の一つ、大輪田泊で知られていた。

江戸時代には兵庫津と呼ばれ、西国各地から大坂入りの船舶の寄港地として賑わった。

しかし幕末の開国時に神戸港が外国船の停泊地に指定されたのをきっかけに、

兵庫津はその地位を神戸港に奪われることになった。

和田岬が船の難所で船の被害が大きかったことから、兵庫出在家町の豪商・神田兵右衛門によって兵庫運河の築造が計画され、1874（明治7）年に着工しましたが工事は難航し、186（明治9）年に船舶の避難地として新川運河だけが完成しました。

その後、八尾善四郎などの尽力により、和田岬を迂回するバイパスとして1896（明治29）年に着工され、1899（明治32）年12月に兵庫運河全体が完成しました。

インターネット検索により 抜粋まとめより

「兵庫の津」界限walk
清盛が整備した旧大輪田泊 兵庫の津

1. 久しぶりに兵庫の港を歩く 2019.1.22.

兵庫港岸壁に並ぶ中小造船の小さな浮きドックと
川重のドックに潜水艦がはいってれば…と期待いっぱい

新開地の商店街を抜けて まっすぐ海岸へ向かえば川重の正門
そこからさらに小さな工場街を抜ければ、兵庫の港の岸壁に出る。
川重のドックに潜水艦いるだろうか…と期待一杯

2019.1.22.

川重の正門前の広い道路

川重の構内の大きな起重機が見える
東川崎町川重前

「兵庫の津」界限walk

清盛が整備した旧大輪田泊 兵庫の津

出東出ガイドマップ



100m 高田屋嘉兵衛
本店の地記念碑

450m 横溝正史
生誕の地記念碑

川重前の広い通りを海岸沿い西へ少し歩いて
再度南へ兵庫港 東出町の街中を抜けると
兵庫港。
いつもの加海岸への街並みが残っている



小さな工場街を抜ければ、兵庫の港の岸壁 岸壁の船が見える



小さな工場街を抜けるとパッと正面に小さなドック 左手奥に川重の巨大なドッグが見える
潜水艦ははいているだろうか? と目を凝らす



2019.1.22. 兵庫の港の岸壁 兵庫港の東の端 東出町より



2019.1.22. 兵庫港東 川重No.3ドッグに入った潜水艦との久しぶりの出会



兵庫港より東側 川重No.3ドッグに入った潜水艦
2019.1.22. 兵庫港 東出町



正面の小さなドッグには双胴船が見える 2019.1.22. 兵庫港 東出町
久しぶりの小さなドッグが並ぶ兵庫港 船が入っているのもうれしい





南側 兵庫港中央の水路 正面奥右手中央卸売市場の岸壁が遠望



東側 兵庫港岸壁 奥に川重のドック



西側 L字の兵庫港岸壁にも小さなドックが並び



2019.1.22.



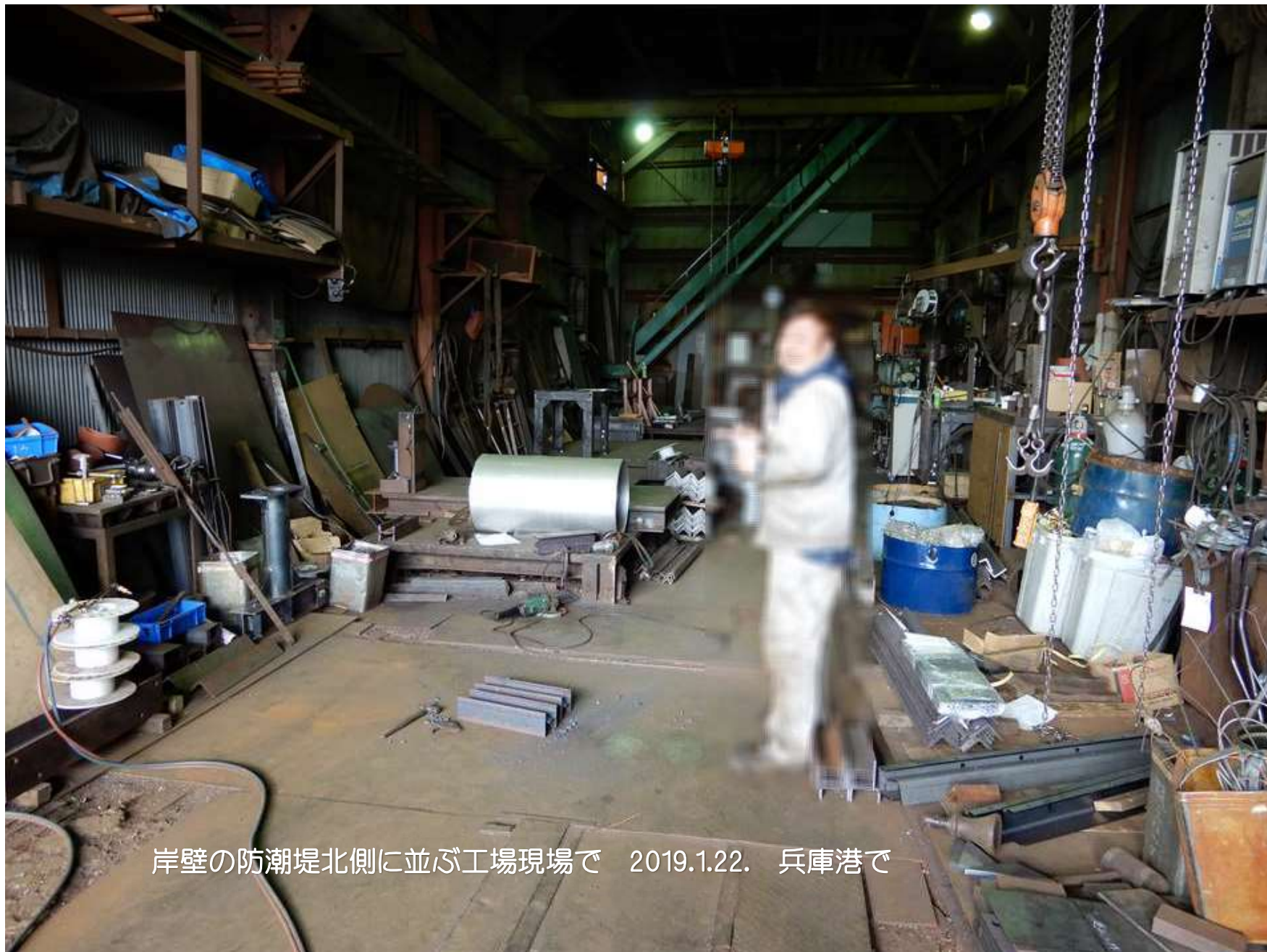
兵庫港の岸壁中央で



双胴船がはいった小さなドック 久しぶりの造船所現場のにおい 2019.1.22. 兵庫港で



また、隣の小さなドックの作業現場 2019.1.22. 兵庫港で



岸壁の防潮堤北側に並ぶ工場現場で 2019.1.22. 兵庫港で



し字に南へ突き出た兵庫港の岸壁から 北側の港内を眺める 2019.1.22. 兵庫港で



2019.1.22. 兵庫港で L字に南へ突き出た兵庫港の岸壁より北側の港に六甲の山並

久しぶりに兵庫の港の今を見ることが出来ました。
造船の街並みには人影も少なく、活気が見られなかったのですが、
川重の浮きドックには潜水艦。そして 岸壁に並ぶ中小造船のドックにも船が入って、
作業が続けられていて、造船ドックの現場のにおいにうれしくなる。
「景気は芳しくなく、また一つドックが岸壁から消える」と岸壁で聞きましたが、
元気な人たちにホッとする。
造船業の行く手は厳しいが、ぜひ持ちこたえてほしいなあと。
久しぶりに見る造船の作業現場 そして港が見れてうれしい兵庫港Walkでした。
2019. 1. 22. 兵庫港から旧兵庫津界限へ歩きながら

兵庫港を北から南へL字の岸壁に沿ってめぐると新川運河の港への出口。
運河に沿って西へ 築島橋の水門が見え、中央卸売市場前・新川運河。
築島橋から先は 市場の東側移転整備に伴って、
運河沿いがきれいな遊歩道に整備されたキャナルプロムナード。
かつての兵庫の津の街の中心の界限で、新聞に紹介されていた
「ニットで着飾った兵庫の津の街」展示が行われていました。



「兵庫の津」界限walk
清盛が整備した旧大輪田泊 兵庫の津
2. 毛糸を着飾った「兵庫の津」界限 walk
清盛が整備した旧大輪田泊 兵庫の津 2019.1.22.

中央卸売市場前・新川運河にかかる築島橋
ここから、毛糸を着飾った「兵庫の津」界限walkが始める

卸売市場の海側 兵庫突堤より西北側 兵庫港を眺める



中央卸売市場前より 北側 築島橋・西 市街地・南側 大輪田橋

兵庫港岸壁に並ぶ中小造船の小さな浮きドックと川重のドックに潜水艦
久しぶりの兵庫の港・造船現場のにおいに触れて
うれしいWalkになりました。

築島橋中央卸売場前に出て、ここから 今日の楽しみ 旧兵庫の津
毛糸で着飾った新川沿いを歩く。
また、この街の一番奥北側の能福寺の兵庫大仏の前に立つニットの仏様も楽しみ。

中央卸売市場前より 北側の築島橋を眺める



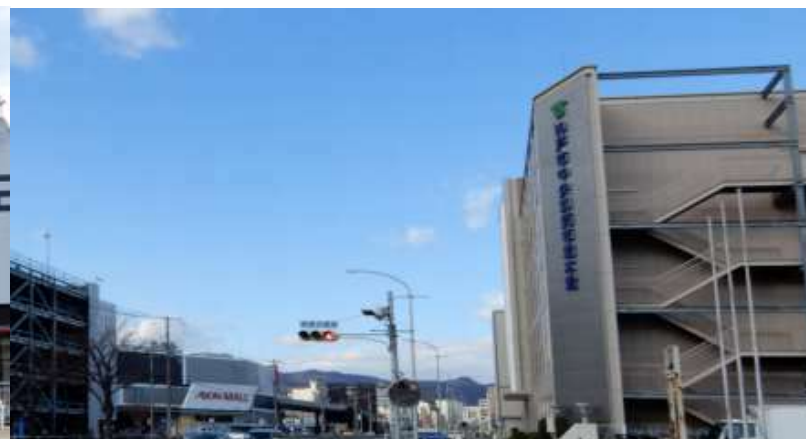
新川運河の築島橋



築島橋 東の海側



築島橋 西側



北側の築島橋を眺める中央卸売市場前

2019.1.22.

この地下には地下鉄中央卸売市場前駅があり、
 右手中央卸売り市場の道を挟んでAeon南のショッピングセンターが新川運河に沿って広がっている。
 この中央卸売市場の南側移転リニューアルを兼ねた再開発整備が約5年前に完成した旧兵庫の津界限。
 この古くて新しい旧兵庫の津の街を毛糸を着飾る展示が行われているという。



ここからまっすぐ北へ 築島橋より一つ南の通り、中央市場中央前を北に新川運河の入江橋に向かう。
 この界限 新川運河キャナルプロムナードや一番北の兵庫大仏まで
 毛糸を着飾った兵庫の津の街展示がされている



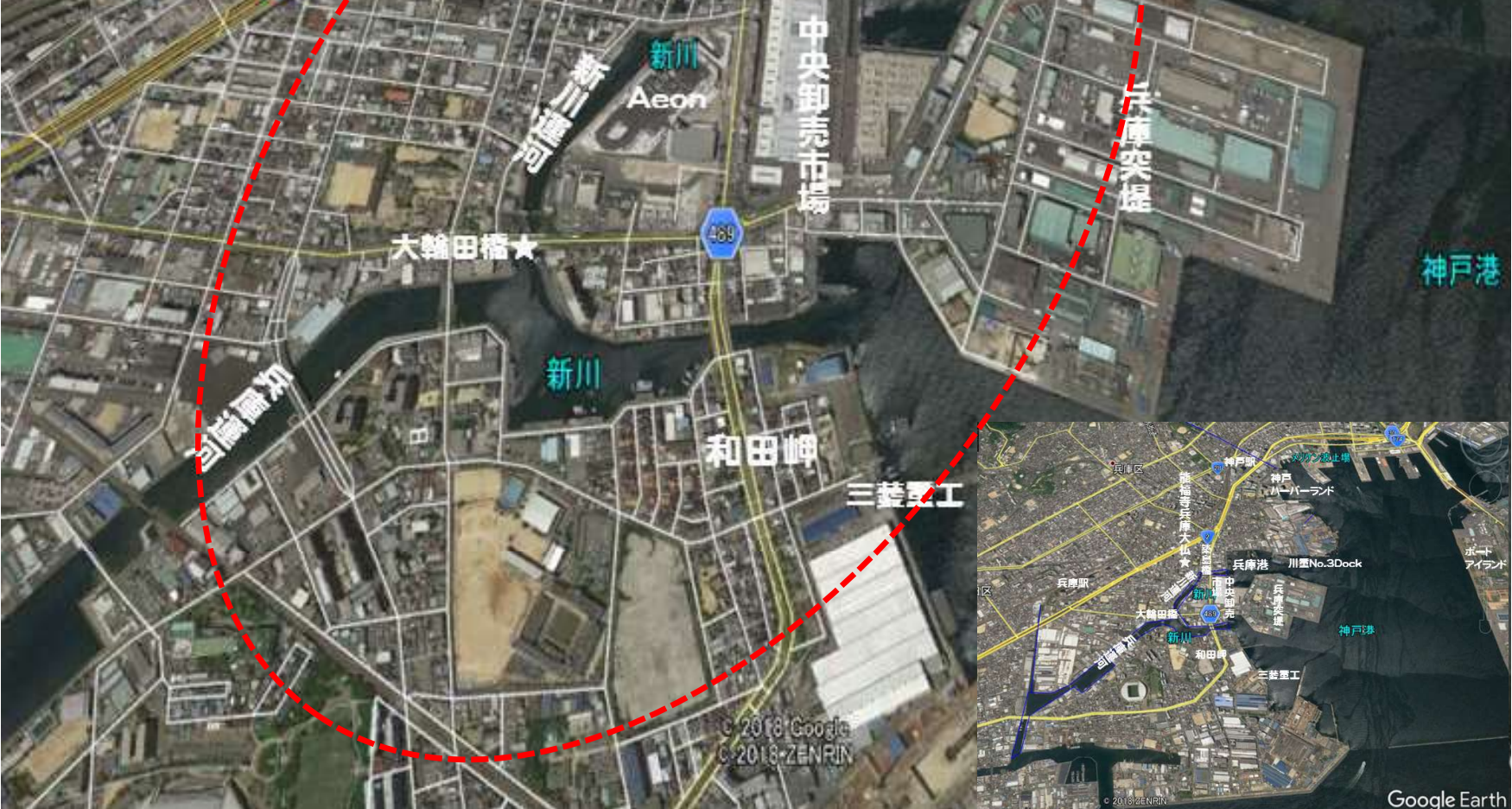
2019.1.22. 毛糸を着飾った兵庫の津界限 地下鉄中央卸売市場前駅で



2019.1.22. 兵庫の津 界限 新川運河に沿うイオンモール南の賑わい
兵庫湊の中州が埋め立てられた中島の兵庫城跡 旧中央卸売市場跡

「兵庫の津」界限walk
概略MAP
清盛が整備した
旧大輪田泊 兵庫の津

兵庫駅





2019.1.22. 築島橋を東東端にコの字に開削された新川運河 入江橋
市場前から少し北へ進んだところで東西に流れる新川運河を渡る入江橋に
橋の袂には清盛像 そして西に延びる運河沿いがキャナルプロムナードに整備され、
今回の毛糸を着飾った兵庫の津のメイン会場。 入江橋にも毛糸が巻き付けられている
のが見える



2019.1.22. 築島橋を東東端にコの字に開削された新川運河 入江橋周辺
かつての兵庫の津の街中心部です



新川運河の東側



新川運河の西側



毛糸を着飾った兵庫の津界限 新川運河 2019.1.22
キャナルプロムナードの遊歩道のモニュメントの頭にもニットの飾りつけ

毛糸を着飾った兵庫の津界限 2019.1.22.
新川運河 キャナルプロムナード



毛糸を着飾った兵庫の津界限 2019.1.22.
新川運河 キャナルプロムナード



毛糸を着飾った兵庫の津界限 2019.1.22.
新川運河 キャナルプロムナード



毛糸を着飾った兵庫の津界限 2019.1.22.
新川運河 キャンナルプロムナード





2019.1.22. 新川運河 キャナルプロムナードの西側





2019.1.22. 新川運河 キャナルプロムナードの西端



2019.1.22. 新川運河 キャナルプロムナードの西端 大輪田橋
新川運河はこの端の西の溜りから南へ海へでて、和田岬へ向かう。
また、ここから 当初の計画通り、ここから西へ兵庫運河が開削され、
和田岬の難所を通らずに西の海へ出られるようになった。





大輪田橋の直ぐ西の交差点の北東角にある清盛塚 右手に大輪田橋がある 2019. 1. 22.



清盛塚の南 兵庫運河にかかる清盛橋から眺める兵庫運河 2019. 1. 22.



東 兵庫運河の入り口側.



西側 兵庫運河の奥.

新聞に掲載されていたもう一つのお目当ての展示

「兵庫の津の北東部にある能福寺 兵庫大仏の前に座主毛糸で編まれた仏様」
この新川運河周辺沿いからは少し戻ることになるのですが、北へ戻る。

そして、其の後、再度中央卸売市場前まで戻って、

「神戸の港越しの六甲の山並み」を東に突き出た兵庫突堤から眺めて、
今日のWalkを終わることに。

清盛塚の後側 兵庫の街並みの後に連なる六甲連山 2019. 1. 22.



2019.1.22. 毛糸を着飾った兵庫の津界限 能福寺 兵庫大仏前で



清盛塚の横の道をまっすぐ北へ道なりに戻って
中央卸売市場へ向かう道との大きな重視路を過ぎると
すぐ左に大きな露座の大仏 日本三大仏の一つ
能福寺 兵庫大仏が見えてくる。 2019. 1. 22.



2019.1.22. 毛糸を着飾った兵庫の津界隈 能福寺兵庫大仏 ニットの仏が前立ちに
一瞬 毛糸で編まれた大仏様はどこだ……と!!



2019.1.22. 毛糸を着飾った兵庫の津界隈 能福寺兵庫大仏と毛糸で編まれた仏様
暖かい日差しにほっこりとした冬のひととき 撮影位置の遠近で



2019.1.22. 毛糸で編まれた仏様が前に座す能福寺兵庫大仏



2019.1.22. 毛糸を着飾った兵庫の津界限 能福寺兵庫大仏の前に毛糸で編まれた仏様

いつも さっと通過する新川運河一帯
毛糸の仏様とともに街全体が毛糸を着飾っていました。
寒い冬の日 ほっこりする心地よい街歩きに。

また、拳ほどの小さな仏様と巨大な兵庫大仏と。
Photoのアングルでこんな楽しい写真が撮れました。
我ながらうれしくなった1枚です。





清盛が整備した旧大輪田泊 兵庫の津

3. 兵庫の津 今の海岸線の兵庫埠頭の突堤から 港神戸を眺める

兵庫の津・兵庫港界隈を歩いていたのですが、外海へ大きく広がる港の景色そして港神戸の街の背に連なる六甲連山を眺められず、「港界隈に来て、見残している感」この中央卸売市場の海岸側後が、兵庫突堤。兵庫港の出口で神戸港の外海につながっているので、港越しに港神戸が眺められる絶景のポジション。もう 記憶は薄れている。 久しぶりに、兵庫埠頭の突堤へ向かう。





兵庫埠頭は卸売市場の海側背後から東へ延び、埠頭への入口は市場の南 中島の十字路から東へ入る。 まっすぐそのまま海に突き当たった所が南側岸壁の第三突堤で北へ第二・第一埠頭と並ぶが今は突堤の間が埋め立て整備され、一つの島になっている。

島の北側が第一突堤である。

南側に第二・第三岸突堤。

和田岬は新川をはさんで

第二・三突堤の反対側である

神戸港中央部や六甲の山並みは第一突堤の突端ならびに北側へ回り込まないとよく見えない。



兵庫第三突堤から南西側 西六甲高取山周辺が神戸の街並みの向こうに見える 2019. 1. 22.
東へ北側ならびに北西側は突堤の中央部になり、海が開けず、六甲の山並みも見えない



兵庫埠頭 第三突堤から西南 和田岬の突端にある三菱神戸造船所を眺める 2019. 1. 22.
三菱にも潜水艦が入るのですが、和田岬の突端 この突堤からは見えない





兵庫埠頭 第三突堤より 新川の出口
和田岬の突端にある三菱神戸造船 2019. 1. 22.
三菱にも潜水艦が入るのですが、この突堤からは見えない



Google Mapより

兵庫埠頭 第三突堤の西側岸壁の根元まで戻り、
そこから突堤を北にトラバースして、第一突堤へ向かう。2019. 1. 22.



兵庫埠頭の根本築地町の交差点 2019. 1. 22.
第一・第二・第三突堤の分岐 築地町まで戻り、そのまま北へ第一突堤へ向かう。



兵庫埠頭 第一突堤の北側の岸壁



神港倉庫の前を左へ曲がると奥に 六甲の山並 川重の文字が見え
第一突堤の北側の岸壁が見えてくる 2019. 1. 22.



2019. 1. 22. 兵庫埠頭 第一突堤岸壁から眺める兵庫港



2019. 1. 22. 神戸港の内海へまっすぐ東へ伸びる兵庫埠頭 第一突堤の岸壁



2019. 1. 22. 神戸港の内海へまっすぐ伸びる兵庫埠頭 第一突堤北岸壁
先端部まで行きたかったのですが、埠頭先端へは立ち入れずでした



中央卸売市場・新川運河口・ 兵庫港西岸壁・ 兵庫港北岸壁・ 川重ドック・兵庫港出口・ 兵庫第一突堤
 2019. 1. 22. 兵庫埠頭 第一突堤岸壁西北端からコの字状に広がる兵庫港の内海をぐるりと眺める



新川運河河口から兵庫港の岸壁



川崎重工神戸 No2 Dock & No. 3 Dock から兵庫港出口



兵庫港北岸壁 ・ 川重ドック 川重造船所・兵庫港出口・遠く港島への神戸大橋遠望
2019. 1. 22. 六甲の山並みを背に 兵庫第一突堤岸壁東北端から東北側
川重ドック・兵庫港の出口を眺める



神戸の街・六甲の山並みを背にポートアイランドに渡る神戸大橋



新川運河口 ・ 兵庫港西岸壁 ・ 兵庫港北岸壁 ・ 川重ドック ・ 兵庫港出口
 2019. 1. 22. 兵庫埠頭 第一突堤北岸壁から眺める兵庫港背後の西六甲の山並み



兵庫港の西側の背 高取山から鶴越・丸山 西六甲の山並み



兵庫港の正面後側 神戸市街地を背に左菊水山 右鍋蓋山の山並



2019. 1. 22. 兵庫埠頭 第一突堤北岸壁から眺める 神戸市街地の背 六甲連山の山並み



再度山

摩耶山

六甲山上

六甲山

お多福山

2019. 1. 22. 兵庫埠頭第一突堤北岸壁から眺める北東側 東六甲の山並み

兵庫の津・兵庫港界限を歩いていたのですが、外海へ大きく広がる港の景色
そして 港神戸の街の背に連なる六甲連山を眺められず、
「港界限に来て、見残している感」があったのですが、兵庫埠頭の突堤から外界へ大きく
広がる港風景・そして港の背に連なる六甲の山並みが見られ、気分爽快。
兵庫の港を眺めながら、また、中央市場前毛糸を着飾った兵庫の津の街に戻って、帰路に。
今までとはまた一つ違ったうれしい港神戸の1ページとなりました。

20019. 1. 22. ほっこりする一日を思い出しながら
Mutsu Nakanishi

2019. 1. 22. 兵庫埠頭 第一突堤 ここは絶好の釣り場のように
見ているだけで 次々とアジが釣れていました





作品を鑑賞する親子ら=新川運河キャナルブルムナード

カラフルな毛糸で街中の柵や街路樹などを飾り、兵庫運河周辺の魅力を発信するイベント「兵庫ニット芸術区」が21日、兵庫区切戸町の新川運河キャナルブルムナード周辺で始まった。ニットを使ったアート作品で知られ、東京を拠点に活動する力石咲さんが手掛けた装飾が同区内の22カ所で展示される。3月29日まで。(真鍋 愛)

兵庫で「ニット芸術区」

街包む毛糸 日常彩る

芸術家力石さんら 街路樹など22カ所

兵庫区役所まちづくり課の主催で、初めて開催。力石さんは昨年9月から兵庫運河周辺を歩き、住民への聞き取りなどで準備を重ねた。今月19、20日には同区の須佐野中学校の生徒や地元婦人会の有志ら約20人も参加して作品を制作した。新川運河キャナルブルムナードの運歩道約300mに赤や黄、水色などの毛糸で十字を模った作品が展示されている。「兵庫大仏」のある龍崎寺(同区北遊園川町)には、ニットの太仏も登場。訪れた人目を止め、スマートフォンなどで撮影していた。

妹とあいの3人で遊歩道を訪れた近くの子供大形さん(26)は「毛糸がカラフルで、川の印象が明るくなった。日曜の散歩がもっと楽しくなりそう」と話した。

2月24日は力石さんと一緒に活動するワークショップが新川運河キャナルブルムナードと旧岡方橋(同区本町2、福屋神社(同区東部町)である。いずれも午前10時~午後4時、無料。参加費は200円。

兵庫区役所まちづくり課 078-811-1111

寒い冬の日 ほっこりと
終わりまでありがとうございました
By Mutsu Nakanishi



「兵庫の津」界限walk
概略MAP
清盛が整備した
旧大輪田泊 兵庫の津

能福寺兵庫大仏

東出町Dock群

川壘No.3Dock

兵庫港

兵庫駅

暖かい冬の一日 ほっこりと

「兵庫の津」界限 walk 2019.1.22.

清盛が整備した旧大輪田泊 兵庫の津

1. 久しぶりに兵庫の港を歩く
2. 毛糸で着飾った「兵庫の津」界限
毛糸で着飾った新川運河プロムナード
兵庫大仏の前に座す毛糸で編んだ仏様
3. 兵庫の津の今の海岸線 兵庫埠頭の突堤から 港神戸を眺める

1月22日新聞に「街を包む毛糸 日常を飾る」の見出しで、旧兵庫の津界限を毛糸で飾る街の展示紹介と共に大きな兵庫大仏の前に立つ毛糸で編まれた仏様が掲載。そのほっこりした姿に 今日のWalkは久しぶりに兵庫の津界限を歩こうと。何度も歩いたことがある界限ですが、久しぶり。今までとはまた一つ違ったうれしい港神戸の1ページとなりました。

By Mutsu Nakanishi

© 2018 Google
© 2018 ZENRIN

Google Earth